

# 平成30年度 小山小学校 校内研究について

## 1. 研究主題

主体的・対話的で深い学びを目指した国語の学習

～読解を通して、ものの見方や考え方を広げ深める児童の育成～

## 2. 研究主題設定の理由

### (1) これまでの取り組み

本校では、平成25年度から5年間「生きてはたらく算数の学習」というテーマのもと研究を進めてきた。最終的なねらいは、算数で学習したことが実際の生活の場面で『生きてはたらく』ことであり、「学ぶ喜びと確かな学力」というサブテーマのもと様々な算数的活動を展開して基礎的・基本的な知識・技能を習得できるような研究を重ねてきた。また、平成28年度から主体的協働的に学ぶ児童を目指して研究を進めてきた。誰もが主体的に学ぶことができるために、全学年を通した「スタンダード」の必要性を考え、授業の流れや板書を統一化してきた。自力解決を基にした話し合いでは、ハンドサインやつなぐ言葉の工夫、小グループからの話し合いのスタイルの工夫や探求学習と銘打って全体の話し合い後に考えを説明する機会を設けるなど、学年に応じた取り組みを行い算数のスタンダードを作り上げてきた。

そこで、今年度からは全教科の基礎となる国語でも、どの学年でも同じように学べる国語のスタンダードを築き、主体的で対話的な深い学びにつながる授業ができるようにしていくことを考えた。まず、初年度は、読み取りの分野に特化して研究することを目指している。理論研究や実態を基にして子ども達に必要な力を明確にし、その力をつけるための手立てを考え、ものの見方や考え方を広げ深める児童の育成を目指す。

### (2) 現代社会の要請、教育界の動向など今日的な課題から

平成29年3月に、新学習指導要領が公示された。そこには、改訂のポイントとして、知識の理解の質を高め、資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」が挙げられている。それぞれの視点は以下の通りである。

- ①主体的な学び・・・自分の学びの変容を自覚し、説明したり評価したりできるようになること。
- ②対話的な学び・・・他者と議論したり協働したりすることや本の作者の考えを自分の考えに生かすことなどを通して互いの知見や考えを広げ深める言語活動の設定。

③深い学び…言葉で理解したり表現したりしながら自分の思いや考えを広げ深める学習活動を設けること

これらは、本校の目指すことに通じるところがある。また、千葉の教育が目指すものとして、『生きる力』の育成がある。その中に「主体的・対話的・深い学び」の実現として、学習指導には「自ら学び、思考し、表現する力」の育成が記されている。学習指導の質を高めながら習得・活用・探求という学習サイクルの確立を施策としている。この現状からも、本校の研究テーマは、児童と教師の双方に求められている力の育成にふさわしいものであると考えた。

### 3. 校内研究の進め方

#### (1) 今後の予定

1年目（今年度）…次期指導要領から国語科の改善の要点を把握

国語の授業構成と展開の構築

2年目…児童の実態に基づいて狙いを明確にしていく・授業の流れに基づいた授業展開

3年目…狙いを定め、研究を深化

#### (2) 校内授業研究会の計画

1学期…理論研修

夏休み…実践研修

2学期…2回

3学期…1回

※いつ、どの学年が展開するかは今後決定

昨年度は、1日に2学年（4・5時間目）に授業展開を行ってきたが、自習体制や教員の人数が多すぎてしっかりと授業が見られないなどの課題点が挙げられた。そこで、今年度は1つの指導案を2人の先生が展開し、自習体制をしっかりととりつつ、人数を半減させて全ての学年の授業を見られるように行う。

（1日に2学年×2人＝4人）学年をA・Bグループに分け、それぞれのグループの授業を見る。

(例)	2校時	3年（1人目：Aグループの人）	Aが参観	Bが自習監督
	3校時	1年（1人目：Bグループの人）	Bが参観	Aが自習監督
	4校時	1年（2人目：Aグループの人）	Aが参観	Bが自習監督
	5校時	3年（2人目：Bグループの人）	Bが参観	Aが自習監督
	6校時	全体会		

※講師の先生には4、5校時に見てもらおう

(3) 校内授業研究会の進め方

〈授業展開〉 9:30～10:15 (2校時)

10:30～11:15 (3校時)

11:25～12:10 (4校時)

13:30～14:15 (5校時)

下校 14:25

〈協議会①〉 14:50～(35分間)

○年生の授業について

・授業者から 5分

・グループ協議 15分

・全体協議 15分

〈協議会②〉 15:25～(35分間)

○年生の授業について

・授業者から 5分

・グループ協議 15分

・全体協議 15分

講師の先生方から 16:00～16:30 30分

(4) 全体会

①協議会ごとに異なる先生方と意見交換ができるようにする。

②観点別に記された記録用紙を配布し、授業を見ながら記入を行いグループ協議の際に持ち寄り、それをもとに話し合いを行う。

③研推で役割を分担し進行する。(司会、ノート書記、写真撮影)

(5) 研究組織

①研究推進委員会 (校長・教頭・教務主任・研究主任・各学年1名)

②年間の役割分担 ○環境…①資料室等の備品の整理、確認

②掲示物等の資料作成の推進・保管

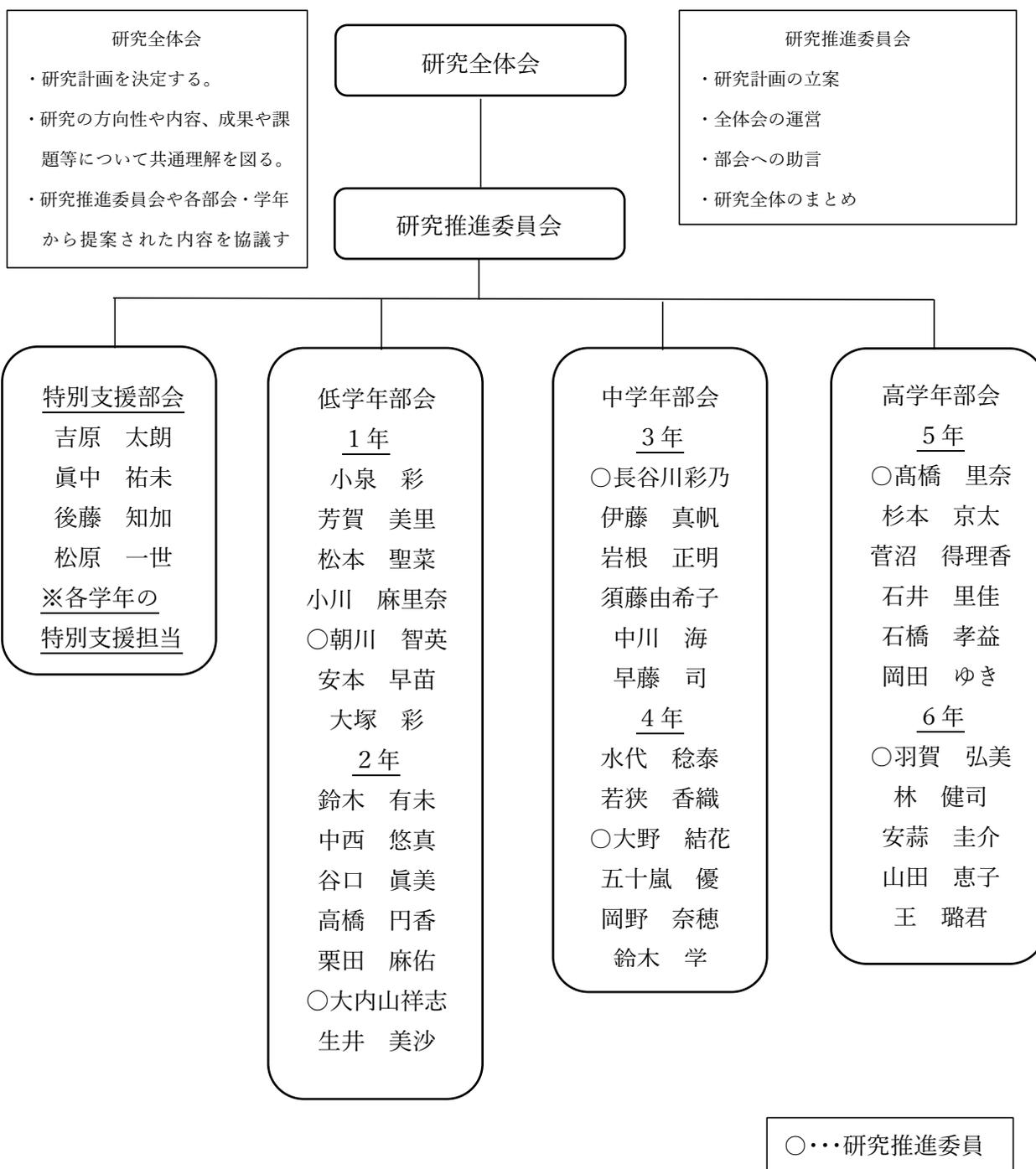
○資料・統計…意識調査の作成、統計、発信

○記録…授業記録・写真などのデータ保存

(6) 確認事項

・近隣校や国語研究の先進校の視察、研修への参加 → 学んだこと・資料などを報告

#### 4. 研究組織（平成30年度）



## 5. 研究計画

月	主 な 内 容	形 態	助言者
4月	研究推進委員会(研究主題、年間計画等の検討) 若手教員研修による新学習指導要領の理論研修 服務規程(服務・勤務内容)及び服務の厳正(情報管理等) 研修全体会(今年度の研修方針)	全体会	校長・教頭  校長・教頭
5月	児童実態把握のためのアンケート項目検討・決定・実施 (若手教員研修)	学年ごと (若手教員)	校長・教頭
6月	新学習指導要領の理論研修(予定) アンケート分析 (若手教員研修)	全体 学年ごと (若手教員)	講師招聘
7月	学力テストの分析 児童アンケート・学力テストの分析から児童像・つきたい力を検討	学年ごと	校長・教頭
8月	服務の厳正について事例研修(わいせつ・セクハラ) いじめの未然防止についての方策	全体会 全体会	市の 管理主事 校長・教頭
9月	指導案作成・検討( . 年) (若手教員研修)	学年・学団 (若手教員)	講師招聘
10月	第1回授業研究( . 年) 服務の厳正について事例研修(体罰・不適切指導) (若手教員研修) 指導案作成・検討( . 年)	授業研究 全体会 (若手教員) 学年・学団	講師招聘 市の 管理主事 校長・教頭
11月	第2回授業研究( . 年) (若手教員研修)	授業研究 (若手教員)	講師招聘
12月	服務の厳正について事例研修(飲酒運転等)	全体会	校長・教頭
1月	指導案作成・検討( . 年) 第3回授業研究( . 年) (若手教員研修)	学年・学団 授業研究 (若手教員)	講師招聘 校長・教頭
2月	研究紀要作成 研究推進委員会(来年度の研修について)	若手教員 全体会	校長・教頭 校長・教頭
3月	若手教員研修(反省会) 最終全体会 最終研究推進委員会	全体会	校長・教頭 校長・教頭